

事務事業名		婦人防火クラブ助成事業		☐ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業																									
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間																									
	施策名	08 消防・救急・救助体制の充実		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和57 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
	基本事業名	02 消防体制の充実		01 09 01 02 19																									
	根拠法令																												
所属	部課名	大船渡消防署																											
	課長名	大久保守正																											
	係名	予防係	電話	27-2119																									
	担当者	田中貴之	内線	433																									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ①火災予防思想の普及高揚を図るため、婦人防火クラブとしての活動に関する事業。 ②主な業務は、会議(役員会、理事会、総会等)・各種研修会(岩手県及び気仙地区婦人消防連絡協議会への参加、県内外からの婦人防火クラブ研修視察対応等)・市開催行事等(市震災追悼式、出初式・大船渡夏祭り市民道中踊り参加等)・消防団活動の支援(災害時の炊き出し等)・大船渡市消防操法大会応援参加・火災予防運動(一般家庭査察への同行)への参加など。 ③事業費は、各組織への補助金として支出される。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																											
		都道府県支出金																											
		地方債																											
		その他																											
		一般財源																											
	事業費計(A)	0																											
人件費	正規職員従事人数																												
	延べ業務時間																												
	人件費計(B)	0																											
トータルコスト(A)+(B)		0																											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																									
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) ・市震災追悼式参加 ・出初め式参加 ・市消防操法大会応援参加 ・防火防災研修会 ・防火座談会参加 ・消火訓練 今年度計画(今年度に計画している主な活動) ・県婦人消防連絡協議会総会等及び気仙地区婦人消防連絡協議会総会出席・市消防操法協議会応援参加・市消防出初式参加・一般家庭査察同行など。 ・補助金の交付 ② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・婦人防火クラブ組織 ・婦人防火クラブ会員 ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 防火・防災研修会等の参加及び婦人防火クラブ活動に役立ててもらう。 ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・各家庭の防火意識が向上し、一般家庭からの火災が減少となり、火災のない安全なまちづくりに貢献する。 ・各地域のつながりが強化され、防火・防災に対する自助・共助意識の強化が図られ、市民の防火・防災力の向上に貢献する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 会議・総会・防火防災研修会等</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 総合防災訓練、その他市開催行事への参加</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 消防団活動の支援(炊き出し、一般家庭査察同行等)</td> <td>回</td> </tr> </table> ⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 交付対象組織数</td> <td>組織</td> </tr> <tr> <td>キ 婦人防火クラブ会員</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table> ⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 会議・総会・防災研修会等参加</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>シ 総合防災訓練、その他市開催行事への参加</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス 消防団活動の支援(炊き出し、一般家庭査察同行等)</td> <td>人</td> </tr> </table>	名称	単位	ア 会議・総会・防火防災研修会等	回	イ 総合防災訓練、その他市開催行事への参加	回	ウ 消防団活動の支援(炊き出し、一般家庭査察同行等)	回	名称	単位	カ 交付対象組織数	組織	キ 婦人防火クラブ会員	人	ク		名称	単位	サ 会議・総会・防災研修会等参加	人	シ 総合防災訓練、その他市開催行事への参加	人	ス 消防団活動の支援(炊き出し、一般家庭査察同行等)	人
名称	単位																								
ア 会議・総会・防火防災研修会等	回																								
イ 総合防災訓練、その他市開催行事への参加	回																								
ウ 消防団活動の支援(炊き出し、一般家庭査察同行等)	回																								
名称	単位																								
カ 交付対象組織数	組織																								
キ 婦人防火クラブ会員	人																								
ク																									
名称	単位																								
サ 会議・総会・防災研修会等参加	人																								
シ 総合防災訓練、その他市開催行事への参加	人																								
ス 消防団活動の支援(炊き出し、一般家庭査察同行等)	人																								

(2) 総事業費・指標等の推移										
			年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円							
		地方債	千 円							
		その他	千 円							
		一般財源	千 円	260	260	260	260	260	260	
	事業費計 (A)		千 円	260	260	260	260	260	260	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時 間	760	760	760	760	760	760	
		人件費計 (B)	千 円	3,040	3,040	3,040	3,040	3,040	3,040	
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
⑤活動指標		ア	回	18	20	27	23	32	20	
		イ	回	6	19	16	13	9	30	
		ウ	回	8	4	2	3	3	3	
⑥対象指標		カ	組織	13	13	13	11	12	14	
		キ	人	14,480	14,400	13,180	13,322	13,304	13,304	
		ク								
⑦成果指標		サ	人	156	369	303	191	328	350	
		シ	人	34	95	287	84	212	250	
		ス	人	2,309	130	120	205	195	200	

人件費単価→	4000	4000	4000	4000	4000	4000
--------	------	------	------	------	------	------

事務事業ID	1112	事務事業名	婦人防火クラブ助成事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？			
火災の予防と防火意識の高揚に必要な知識、技能の研究、応急手当の習得を行い、婦人防火クラブの健全な発展と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的に昭和57年4月22日結成された。			
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？			
発足当時は、旧大船渡市7クラブで5,696名の会員であったが、その後も各地区防火クラブが結成され現在に至る。			
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？			
特になし			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	・男女共同参画の視点から、多様な団体とのネットワークを構築し、様々な研修や交流を深め、防災に強いまちづくりに貢献している。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	・火災の発生率減少、災害に対する自助・共助の向上に大いに貢献し、女性のリーダーシップ、地域の防火・防災に関する指導者の育成等を推進している。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	・大船渡市で婦人防火クラブ未結成地区(吉浜・越喜来地域)での、結成が望まれる。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	・現状は、11地域の防火クラブに加え、防火太鼓メンバーの計12組織で活動しているが、三陸町の未結成地域(吉浜・越喜来地域)の結成により、当市全域での防火・防災意識の向上に関する活動が可能となる。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	・火災発生率の増大、災害時の自助及び共助意識が低下し、防災力が低下する。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	・女性のリーダーシップ、地域の防火・防災に関する指導者の育成を目的とした組織であり、他団体との統合の余地はない。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	・婦人防火クラブ会員は、当市で結成されている様々な団体の構成員であり、多くの行事等にも参加している為、会員の活動に支障をきたす事業費の削減余地はない。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	・任意の外郭団体で有り、役員の担い手に苦慮している現状につき会員への事務処理委託等の余地はない。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	・活動内容に応じ、各地区防火クラブ等に平等に配当され公平である。	

事務事業ID	1112	事務事業名	婦人防火クラブ助成事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・火災の発生抑止、災害時における自助・共助の向上に大いに貢献するとともに、女性のリーダーシップ、地域の防火・防災に関する指導者の育成等を推進し、多様な団体とのネットワークを構築し、様々な研修や交流を深め、防災に強いまちづくりに貢献している。									
① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 防災に強いまちづくりを実現するために、欠かせない組織であり、未結成地域住民の結成意欲を推進していく必要がある。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 ・未結成地域住民へ組織の重要性について、防火座談会・防火講話等、様々な機会を通じて説明する必要があると考える。																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	大船渡消防署長
	大久保守正

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 問題点等についてもよく理解し、適切に事務執行している。										
① 目的妥当性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☒ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) さらに組織の活性化と、全世帯加入が達成されるよう努力する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持																						
	低下																						

5 最終評価結果

(1)行政経営推進会議等での指摘事項
